

テレビ番組視聴時の感情と視聴率との関係

Relationship between Emotion and Audience Rating when Watching TV Programs

D-5

出射 直人 伊與田 光宏

Naoto IDEI Mitsuhiko IYODA

千葉工業大学情報工学科

Department of Computer Science, Chiba Institute of Technology

1. はじめに

昨今、日本ではスマートフォンの利用者数が増加するとともにテレビの視聴者数が減少している。テレビを利用し情報を取得する場合に比べ、誰でも情報を発信できてしまうインターネットを利用して情報を取得する場合の情報の確実性は低い。

2. 目的

テレビ番組を視聴した際の高視聴率時と低視聴率時の感情分析を行うことにより、感情と視聴率との関係を調べる。そうすることで視聴率の要因となる感情が明らかになり視聴率の高い番組作りに役立てることができ、若者のテレビ離れを減少させることができるのではないかと考える。

3. 提案手法

テレビ番組のタイトルからツイートの取得を行い、取得したツイートに対して形態素解析を行う。そして、形態素解析を行ったデータに対して感情の分析を行い、感情と視聴率との関係を調査する。

3.1 感情語辞書の作成

本研究の感情表現にはプルチックの感情の輪を利用する。プルチックの感情の輪はロバート・プルチックという心理学者が1980年に発表したものである。8つの基本感情「喜び」「信頼」「心配」「驚き」「悲しみ」「嫌悪」「怒り」「期待」への分類を行う。また、感情語辞書の作成にはWord2vecを利用する。Word2vecにより単語をベクトル化する。本研究ではWord2vecのデータに朝日新聞社が株式会社レトリバとの共同研究の一環として作成されたデータを用いる。これは、朝日新聞社が保有する約800万記事（延べ23億単語）を用いて学習した単語ベクトルである。そのデータ中の形容詞と動詞に対してプルチックの感情の輪の8つの基本感情に分類することで感情語辞書の作成を行う。

3.2 視聴率との比較

今回はドラマとバラエティ番組の各2番組に対して比較を行う。ドラマでは1クール中の高視聴率時と低視聴率時の比較を行い、バラエティ番組では2018年中の高視聴率時と低視聴率時の比較を行う。

4. 結果

表1. ドラマ1における感情分析の結果

感情	高視聴率時		低視聴率時	
	感情語 (個)	割合	感情語 (個)	割合
喜び	302	35.0%	87	30.1%
信頼	9	1.0%	5	1.7%
心配	35	4.1%	30	10.4%
驚き	129	15.0%	58	20.1%
悲しみ	343	39.8%	84	29.1%
嫌悪	14	1.6%	16	5.5%
怒り	23	2.7%	9	3.1%
期待	7	0.8%	0	0.0%

5. 考察

感情分析から、ドラマとバラエティ番組ともに高視聴率時と低視聴率時に大きく差が見られたのは悲しみの感情であった。よって、番組の視聴率には悲しみの感情が最も影響すると思われる。

参考文献

- [1] 黒崎 優太 高木 友博 「Word2vecを用いた顔文字の感情分類」 http://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2015/pdf_dir/B3-3.pdf